



〔開催報告〕

小学生のためのサマースクール 2019

開催日 8月2日・8月5日



8月2日（金）、5日（月）に神戸大学の教職員のお子さん（小学生）を対象にしたサマースクールを開催しました。2日に24名、5日に24名の小学生が参加し、実験や参加型プログラムを楽しみました。

今年度は低学年（1～3年生）と高学年（4～6年生）に分けてプログラムを実施しました。11人の先生にご協力いただき、大変好評のうちにサマースクールを終えることができました。ありがとうございました。

8/2・8/5（低学年）

フソウのカイケツ...何それ!?

林 美香先生（国際協力研究科）

ゲームやお話をしながら、神大キャラクターのうりぼー君と一緒にフソウカイケツやサイバンのについて考えました。教室は最後までにぎやかで、みんな楽しそうにしていました。

感想 なんじゃもんじゃのゲームが楽しかった。

8/2（低学年・高学年）

絵を描いて平和を考える

アレキサンダー ロニー先生（国際協力研究科）

絵本のねこ、ポーポキは平和を感じたりすることが大好き！みんなで平和を考えたり、探したりしてから、ポーポキの物語を作って、大きな紙に平和の絵を描きました。

感想 話を自分たちで作るのが楽しかった。

8/2（低学年・高学年）

紙芝居で考える、きまりって何？

馬場 健一先生（法学研究科）

昔々ある村で村長さんが、あるきまりを作りました。「この橋、馬はわたるべからず。」村人はびっくりしてしまいます。どうしてこんなきまりができたのでしょうか。きまりは人によってとらえ方が異なることを紙芝居を学びました。

感想 紙芝居のお話がいろんなことを思いついて楽しかった。

8/2（高学年）

昔の家族は大家族？

-200年前に生きた「はっさん」の人生を通して考えてみよう-

平井 晶子先生（人文学研究科）

家族ってなあに？ずっと変わらないものなの？今と昔の家族構成の違いを昔の戸籍を見て学びました。サザエさんの家族構成や自分の家族構成なども知ることができました。

感想 サザエさんの家族形態を初めて知って驚き、とても楽しかった。

8/2（高学年）

自分の「ドキドキ」を見てみよう

正田 悠先生（国際文化研究科）

たくさん走ったり、運動したりすると、胸がドキドキします。実際に心拍を測ってみて、自分がドキドキする秘密を学びました。みんな興味津々で自分の心拍のデータを見ていました。

感想 自分の心拍を聞いたのが楽しかった。

8/5（低学年）

5感を鍛えよう！

三輪 誠先生（海事科学研究科）

みる・きく・におう・さわる・味をみる、船の機関士は5感を使って機械を安全に運転しています。機関士を目指して、みんなで楽しく5感を鍛えました。

感想 最も楽しかったプログラムは、船の機関士に関してだったようです。

8/5（低学年）

寄生虫のふしぎな世界

入子 英幸先生（保健学研究科）

寄生虫標本の観察、寄生虫に関するクイズを通して、寄生虫のふしぎな世界を知りました。虫に興味のあるお子さんも多く、実際に寄生虫をさわることができて喜んでいました。

感想 虫が好きなので、寄生虫の授業がとても楽しかった。

8/5（高学年）

機械で声質を変えてみよう

滝口 哲也先生（システム情報学研究科）

あなたの声を（または誰かの声を）色々な声に変えられる装置があれば、どういう声に変えてみたいですか？自分の声や音楽がデータでどう表されているかや、音声認識が社会でどう役立っていくか学びました。

感想 自分の心拍を聞いたのが楽しかった。

8/5（高学年）

脳の不思議、知覚の世界を体験しよう

松本 絵理子先生（国際文化研究科）

錯視の不思議の体験や簡単な工作などを通じて、人間の見え方の不思議に迫ってみましょう。動画を見て、錯視や認識のズレを学びました。デモンストレーションの体験や工作の時間もあり、楽しく学びました。

感想 みんな発見したくて何回も見えなかった。ゴリラ見えなかった。

8/5（高学年）

人工クレーターを作ってみよう

中村 昭子先生（理学研究科）

探査機はやぶさ2は、小惑星の表面に人工クレーターを作りました。はやぶさが行ったこと等しい方法で、みんなでクレーターを作る実験をしました。

感想 クレーター作りが楽しかった。簡単に作ることができたのがびっくりした。

8/5（高学年）

Marine en vironment
海について知ってこう!!!

ルックス マシュー先生（海事科学研究科）

英語を交えて海に関することを学びました。みんなで机を囲んで、カードゲームなどをしたり、ロープの結び方を学んだりして、最後まで楽しい時間を過ごしました。

感想 すごろくやかるた、ロープなどゲームや身近に使えることを教えてくれて楽しかった。



[開催報告]

理系志望の女子向けオープンキャンパス 2019

開催日 8月7日・8月8日・8月9日

理学部・工学部は六甲台キャンパス、海事科学部は深江キャンパスにて開催となりました。オープンキャンパス前半は、女性教員による学部案内や進学率などの説明、女子学生による学生生活の紹介が行なわれました。後半は、学科別に分かれて高校生と女子学生とのグループトークを行い、高校生から受験勉強の方法や大学生活についての質問が出されていました。アンケートには、神戸大学の女子学生と直接話ができる機会をもてた事に対する感想が多く寄せられました。



8月7日（水） 海事科学部 64名参加



参加した高校生の感想

- ・学校の雰囲気が良く分かって楽しかった。また見に来たい。女子が多いのが楽しかった。
- ・海事科学部について理解が深まった。参考になった。
- ・学生とのトークで普通の説明会では聞けないことを聞けてよかった。
- ・自由度が高そうでいい印象を持った。



8月8日（木） 工学部 72名参加



参加した高校生の感想

- ・テーブルトークでは特に先輩の気持ちとかまで聞いて、楽しく、色々な参考になりました。
- ・先輩からたくさんのお話を聞かせていただいて、とても楽しかったです。勉強を一生懸命頑張って、是非この神戸大学に来たいです！
- ・学部や研究室、学校に入ってからの流れなどを詳しく教えてもらったので、自分の進みたいのがどのようなものかと考えることができた。



8月9日（金） 理学部 70名参加



参加した高校生の感想

- ・学生生活の説明を神大生がしてくれたところ。女子が少なくて不安に思っていたことに対して答えてもらえてうれしかったです。
- ・女子の具体的な進学率や、就職先が知れた。進路やそこに行くための過程を詳しく知れた。
- ・大学生・大学院生の方がとても優しく、話しやすくて楽しかったです。